

The background features a warm, yellow-to-orange gradient with several colorful butterflies (purple, blue, pink, light purple, red, and brown) scattered throughout. Overlaid on this are several thick, wavy lines in shades of green, blue, and orange. A white oval shape is positioned in the upper right quadrant, containing the title text.

「さいたま・りぷろの家」活動報告書

認定NPO法人  
女性のスペース

ゆい  
**結**

発行 2023年3月

認定NPO法人 女性のスペース結  
20年のあゆみ



## 中村代表理事 巻頭挨拶



「埼玉県配偶者暴力等セーフティネット強化支援補助金事業」の3年間の成果の報告と併せて、当団体設立20年の節目を迎えたことを踏まえ、この報告書を作成することができました。

3年間の事業の3つの柱は、リプロダクティブヘルス&ライツの視点から、主として若年世代のDV被害、予期せぬ妊娠のとまどい、生きづらさを抱える女性の支援でした。

何をすると求めているものにつながるのか、どう支援していくことが必要なのか、模索しながらのスタートでした。幸い、世の中の傾向が女性の性に関する関心もたれてきたこともあり、女性の身体について助産師さんからお話を聞き、貧困問題のもとに生理用ナプキンの配布なども実践することができました。そして3年間を通して、どこ連携が必要か、私たちができることは何なのかという課題が見えてきました。

2001年のDV防止法が施行されたときに立ち上げた当団体ですが、年表を作りながら、DVに対する世論の認識も変わってきていることを実感します。

2024年からは改正DV防止法が施行、新たに「**困難な問題を抱える女性への支援**」に関する法律が施行となります。条文の中には「民間団体との連携」が掲げられ、当団体もその役割を求められることが増えていくかと思われます。

一つの団体でできることは限りがあります。多くの団体のそれぞれの得意分野のご協力を得ながら、活動の枝葉が広がるように努めたいと思っております。

今後とも皆様のお力添え、ご協力よろしくお願いいたします。



## 女性のスペース結とは？

DVを根絶し、女性や子どもの人権が守られ、誰もが自分らしく生きられる社会に向かって女性の地位向上と男女平等社会の実現のための活動をしています。



## りぶろとは？

女性たちが主體的に自分の性と健康について考えるという意味の「**リプロダクティブ・ヘルス&ライツ**」(性と生殖に関する健康と権利)を簡略化した独自の言葉です。

\*生殖に関する権利は、すべてのカップルと個人が、出産する子どもの人数、間隔、時期を自由に責任を持って決断することができる権利。そしてそのための情報と手段を持つ権利、及びできるだけ最高水準の性と生殖の健康を手に入れる権利を認めることに関わっている。それらにはまた全ての人々が差別と矯正と暴力を受けることなく生殖に関する決定をする権利も含まれる。「リプロダクティブ・ヘルス&ライツ」世界保健機構(WHO)より



## 認定NPO法人 女性のスペース結 組織及び事業

埼玉県配偶者暴力被害者等セーフティネット強化支援補助金事業  
「さいたま・りぶろの家」

女性と子どものためのシェルター「まどかハウス」

市町村女性相談員派遣事業

埼玉県人権男女共同参画課 継続的自立支援事業

埼玉県人権男女共同参画課 民間団体育成補助金事業

認定NPO法人 女性のスペース結  
URL: <http://watashihiro.com/>

理事長 理事 8名 監事 2名  
結会 正会員 25名 サポート会員 75名

●東京事務所(本店)  
東京都中野区上高田2-58-11  
西山ガーデンハウス201  
TEL&FAX 03-5942-8324  
Email: spacey2581@xui.biglobe.ne.jp

●さいたま・りぶろの家  
埼玉県さいたま市南区  
鹿手袋1-3-9-201  
TEL&FAX 048-762-8633  
77-777 0120-15-8633  
Email: spaceyui153@yahoo.co.jp  
Gmail: ripronoie@gmail.com

埼玉県配偶者暴力相談支援センター  
「越谷市女性・DV相談支援センター」

越谷市女性自立支援センター  
「はればれ越谷」

シングルマザーと  
子どものためのシェアハウス  
「西山ガーデンハウス」

女性と子どものステップハウス

## 「さいたま・りぷろの家」基本理念

### 聞く・話す・相談する

電話、メール、SNSによる  
インタビュー、  
面接相談の実施



### 切れ目なく支援する

継続相談、同行支援（役所、病院、警察、裁判所、弁護士事務所、助産院、保健センター、福祉事務所、不動産屋等）カウンセリング、心のケア、自立に向けたサポート、アウトリーチ、子どもケア、衛生用品の配布、アンケートの実施



### おせっかいプロジェクト

こられてセクハラ？

婦人科に行くの怖いなあ

リプロって何？

性暴力言にも言えない...

ちょっと一人で休みたい

赤ちゃんできちゃったか...

家の居心地が悪いなあ

彼氏の話し聴いて嫌われたらどうしよう？

生理ナプキンが買えない

妊娠したらどうしよう...

悩んで聞いてほしい

ビルって飲んでも大丈夫？

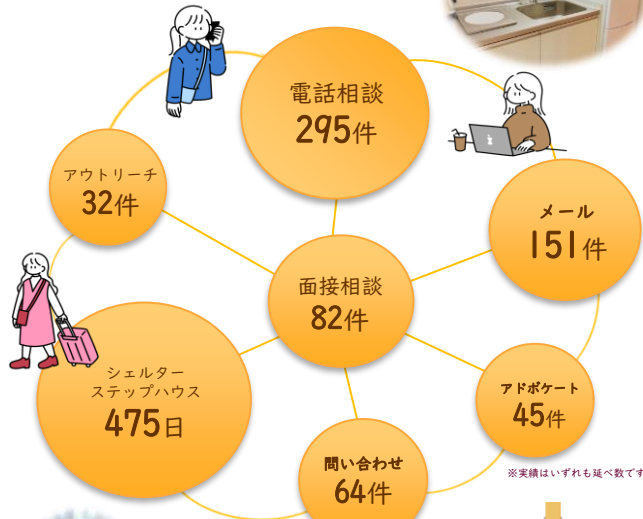
「さいたま・りぷろの家」は、DV被害、デートDV、様々なハラスメント、性暴力等の被害を受けた若年女性のためのスペースです。悩んでいる方、関係者の方、一度ご相談ください。私たちと一緒に考えていきましょう。被害者の方が休める場所も用意しています。

### つなげる・つながる

助産師、保健師、看護師、公認心理師、社会福祉士、精神保健福祉士による支援やアドバイザー等  
アドボケーター研修  
広報活動

## 「さいたま・りぷろの家」の活動実績

2020年8月～2023年2月



相談できずに抱え込んでいる人、相談しても決断に至らなかった人等、多様なニーズを支える姿勢が今後も必要とされています。



ペット同伴で避難をしたいという要望に現状では受け入れが難しくなっています。



女性のスペース結の講座



これまで女性のスペース結が主催した講座の参加者の皆さんの声をお届けします。

オンライン講座



オンライン保健室

私から私だけのもの。生産性にかまつかつもやまを置いてよ!

- 講座名 産後ケア (土) 2022年7月24日 講座時間 15分
講師 伊藤 美穂

アドバイザー 伊藤美穂先生 (産科、産後、産後ケア、心療内科)
伊藤美穂先生 (産科助産師)

参加費 定額1,000円
参加者数 5名
参加申し込み 2022年7月17日(日) 18時迄

講師 伊藤美穂先生 (産科助産師)
伊藤美穂先生 (産科助産師)

参加費 定額1,000円
参加者数 5名
参加申し込み 2022年7月17日(日) 18時迄

講師 伊藤美穂先生 (産科助産師)
伊藤美穂先生 (産科助産師)

講師 伊藤美穂先生 (産科助産師)
伊藤美穂先生 (産科助産師)

講師 伊藤美穂先生 (産科助産師)
伊藤美穂先生 (産科助産師)

Multiple flyer for 'Women's Space' events including 'Women's Lifestyle' and 'University Students' sessions.

埼玉県後援講座

Flyer for '2022年9月18日(日) 認定NPO法人女性のスペース結' event.

ワークショップ講座

Flyer for '性教育の今を知る' workshop.



性感染症にかかってしまった様子を紙コップで再現



(DVを受けて)自分は悪くないがアソビことが大事。

キャリアと言うと仕事しか結びつかなかったが、資格、学習、余暇活動等も関連付けて考えていくと初めて知りました。家族中心に生きるとは一番良いと思いませんでした。仕事を学習も諦めたことに気づきました。諦めなくなりました。



Flyer for '女性自分らしく生きられる社会の実現に向けて' event.



改めて理解を深めることができた。アサーションで世代の異なる方の考えを知ることができたのが非常に良い経験となりました。

10年先の自分を考えるというのはいまとならぬ思いが強いではないです。意外と考えるという行為に繋がりました。

同行主催は事務的な手続きだけではなく、心に寄り添う支援が必要だと分かった。

実際の同行支援で驚かされたこと。一日の動きをこなすことが出来たことが驚かされたのが印象的だった。

身近な相談を受けた時にどう対応したらいいのかを考えることができた。

アドボケーター養成講座

Flyer for 'アドボケーター養成講座 ~DV被害者支援の現状~' event.

Flyer for 'DV被害者支援ボランティアのためのアドボケーター養成講座' event.



「さいたま・りぶろの家」の啓発活動の一環として  
3年間で生理用ナプキン12,000個  
メッセージ入りトイレットペーパー3,200個  
を配りました。



自分らしく生きるために

**生理用品はいろいろある**

自分に合う生理用品を見つけよう

月経カップ  
漏れの心配がなく、  
衛生面でも優れている

タンポン  
漏れの心配がなく、  
コンパクトに持ちやすい

パッド  
漏れの心配がなく、  
清潔で使いやすい

ナプキン  
漏れの心配がなく、  
清潔で使いやすい

生理巾着  
漏れの心配がなく、  
清潔で使いやすい

生理中や生理の時は  
つらい症状がでる人もいますよ

つらい症状がでる人もいますよ

自分やほかの人のからだを大切に  
がまんしないで相談してね

自分やほかの人のからだを大切に  
がまんしないで相談してね

自分やほかの人のからだを大切に  
がまんしないで相談してね

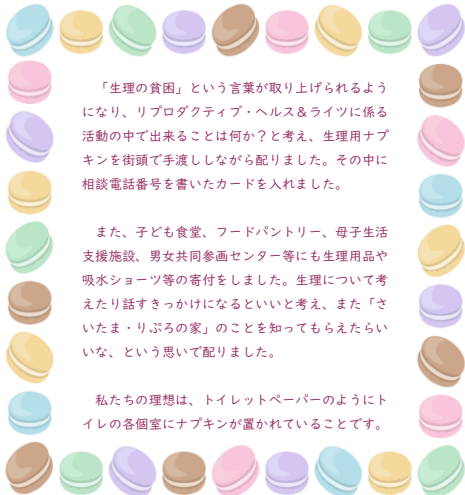
自分やほかの人のからだを大切に  
がまんしないで相談してね

自分やほかの人のからだを大切に  
がまんしないで相談してね

自分やほかの人のからだを大切に  
がまんしないで相談してね

自分やほかの人のからだを大切に  
がまんしないで相談してね

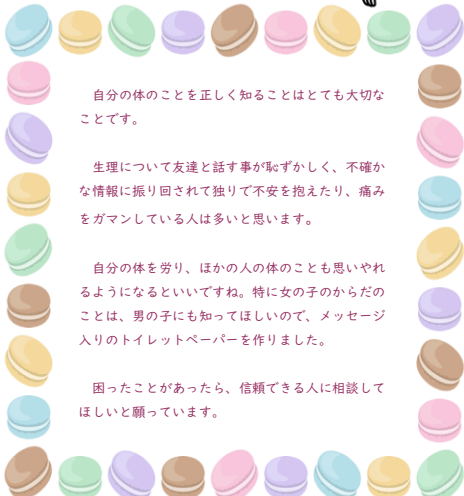
自分やほかの人のからだを大切に  
がまんしないで相談してね



「生理の貧困」という言葉が取り上げられるようになり、リプロダクティブ・ヘルス&ライツに係る活動の中で出来ることは何か?と考え、生理用ナプキンを街頭で手渡ししながら配りました。その中に相談電話番号を書いたカードを入れました。

また、子ども食堂、フードパントリー、母子生活支援施設、男女共同参画センター等にも生理用品や吸水ショーツ等の寄付をしました。生理について考えたり話さきっかけになるといと考え、また「さいたま・りぶろの家」のことを知ってもらえないかな、という思いで配りました。

私たちの理想は、トイレットペーパーのようにトイレの各個室にナプキンが置かれていることです。



自分の体のことを正しく知ることはとても大切なことです。

生理について友達と話す事がめずらしく、不確かな情報に振り回されて独りで不安を抱えたり、痛みをガマンしている人は多いと思います。

自分の体を労り、ほかの人の体のことも思いやれるようになるというですね。特に女の子のからだのことは、男の子にも知ってほしいので、メッセージ入りのトイレットペーパーを作りました。

困ったことがあったら、信頼できる人に相談してほしいと願っています。

**生理のことは頼ってもいいよ**

トイレに行ったらパンツがまっかつか

びつくりしたね  
ナプキンあるよ

たすかる!  
あしたの体育どうしよう...

つらかったら先生に相談して見学してもいいんじゃない

**女の子の生理ってしてる?**

生理は1か月に1回の赤やオレンジ色の塊がでてくるよ。閉経前までは生理の長さや出る量は人それぞれが違うよ

男の子にも知ってほしい!

女の子が赤くなると...

漏れがみんできたら困るよ。赤い生理用品は大事だよ。おまよ10〜15歳くらいの人によって長さはまちまちだよ

ね、おなか、おしりから冷えないように人は見えない! 人に知らせない!

りぶろペーパー

自分らしく生きるために

自分らしく生きるために

自分らしく生きるために

自分らしく生きるために

自分らしく生きるために

自分らしく生きるために

自分らしく生きるために

自分らしく生きるために





## 生理のアンケート



生理用ナプキンを配布した際に生理についてのアンケートをよびかけました。

生理以外の出血  
が心配 (10代)

生理について困っている

生理以外の女性の体特有の症状で困ったことがある

かかりつけの婦人科医がある

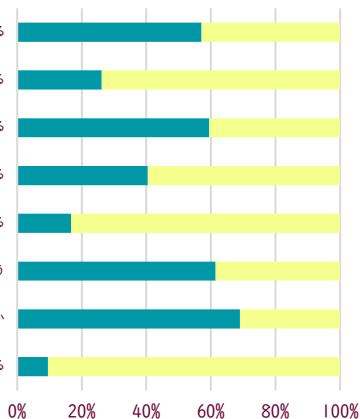
女性相談があることを知っている

女性相談を利用したことがある

女性相談を利用したいと思う

性に関するワークショップに参加してみたい

今、何か困っていることがある



生理前の症状や、生理の重  
やが毎回異なる。また、自  
分にあった生理痛の薬をま  
だ見つけられていない。パ  
ルを処方してもらおうが迷  
っている。(20代)

閉りに合まるものでもない  
と思っているので、一人で思  
ってもない行動をしまっ  
たり、泣いてしまうことは耐  
し、向き合えないといけない  
日があるのが辛い。(10代)

更年期障害の始まり  
かな…(40代)

更年期なのか感情の起伏  
が激しくなってきました。(50代)



## これからの 「さいたま・りぷろの家」



これからの「さいたま・りぷろの家」では、自分が自分らしくいられるた  
めの、安心・安全な居場所を提供していきます。

- ・大変な時、その空間から離れて考えてみたくなる、  
そんなときに身を置ける場所があったら…
- ・自分自身のこれからのことを、誰かと話すことでヒントを得たい…
- ・親子だけの生活からちょっと離れて、週末だけ違う風も取り入れたい…
- ・避難はハードルが高い、でも困ったときに  
泊りがけて相談できる場所があったら…
- ・思いがけない妊娠、どうしよう…

こんなモヤモヤに寄り添います。私たちといっしょに考えていきましょう。

**レジリエンス** 本来持っている力の回復

**エンパワメント** 自分の決断を信じる力

**ストレングス** 自分らしく一歩前に進む勇気

焦らず、自分のペースでステップアップしてってほしいと願います。



## アドボケーター養成講座

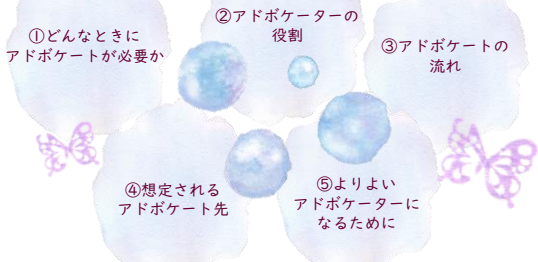


女性のスペース結は例年DV被害者支援のためのボランティア養成講座を開いてきました。その後アドボケート(同行支援)に特化した講座を開催しています。様々な理由で、権利の表明が困難である人になり、その権利を守り、権利の実現を支援する機能を「アドボカシー」または「アドボケート」といい、その支援者のことを「アドボケーター」といいます。日本語では権利擁護、代理支援、同行支援ともいいます。

アドボケーターにどこまでの役割を求めるのかは、相談者によって異なりますが、私たちは一定のガイドラインを策定することで、相談者に二次被害を与えず、また同行支援者も二次受傷することのないようにしたいと考えました。当団体の各種会議での議論や、相談事例のケース検討を踏まえ、最低限盛り込むべき事項、及び盛り込むことが望ましい事項についてまとめました。あくまでも基本的なガイドラインとしてあり、今後改良改善していくことが望まれます。

## アドボケーターガイドライン

アドボケートの中で学ぶことはたくさんあります。それらを仲間と共有しながら有効な結スタイルを作っていきます。



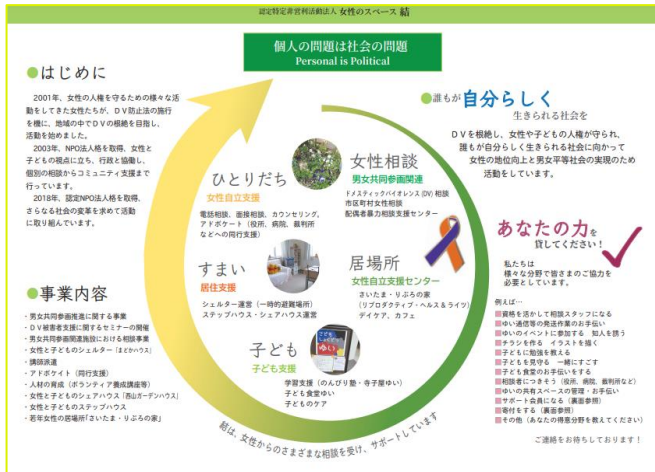
詳しくは公式サイトからご覧ください  
<https://watashi-ro.com/archives/476>



## 支援の輪



あなたの力を貸してください



## 寄付のお願い

あなたの寄付が社会貢献につながります

郵便局の振込取扱票にてお支払いいただくことができます。後日、寄付金受領証明書をお送りいたしますので、確定申告の際にお使いいただければ税控額となります。

郵便振替講座「特定NPO活動法人 女性のスペース結」  
00130-0-62844



# 女性のスペース結 20年の活動の歴史

中野の西山がーゼンハウスでは  
このような活動もやって  
います

年	相談活動	シェルター活動	啓発活動等
2001	相談活動「中野市婦人相談室」		
2002	女性のための電話相談活動「結」		
2003	認定NPO法人取得 「つらい思いを吐き出す場所」 「DV被害者支援センター」		
2004	DV被害者支援センター 「つらい思いを吐き出す場所」 「DV被害者支援センター」		
2005	DV被害者支援センター 「つらい思いを吐き出す場所」 「DV被害者支援センター」		
2006	DV被害者支援センター 「つらい思いを吐き出す場所」 「DV被害者支援センター」		
2007	全国共通DVホットラインに参加 「全国からDV電話相談を受けられる」		
2008	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2009	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2010	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2011	結ニュースレター No. 1 ~ 5 4 発行		
2012	「ハッピーネット」に参加		
2013	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2014	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2015	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2016	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2017	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2018	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2019	埼玉県男女共同参画推進センター「はつと」発祥地 「はつと」発祥地 「はつと」発祥地		
2020	認定NPO法人取得 「つらい思いを吐き出す場所」 「DV被害者支援センター」		
2021	認定NPO法人取得 「つらい思いを吐き出す場所」 「DV被害者支援センター」		
2022	認定NPO法人取得 「つらい思いを吐き出す場所」 「DV被害者支援センター」		



毎月「イラレ」を届けたいと  
子どもたちがのびのびと  
笑顔で過ごしています



子どもたちが大人数で一緒に  
ゲームや工作を楽しんでいます



子どもたちが笑顔で  
自分たちでつくった  
お菓子や工作を  
楽しんでいます



毎月「イラレ」を届けたいと  
子どもたちがのびのびと  
笑顔で過ごしています



子どもたちが大人数で一緒に  
ゲームや工作を楽しんでいます



子どもたちが笑顔で  
自分たちでつくった  
お菓子や工作を  
楽しんでいます



毎月「イラレ」を届けたいと  
子どもたちがのびのびと  
笑顔で過ごしています



子どもたちが大人数で一緒に  
ゲームや工作を楽しんでいます



子どもたちが笑顔で  
自分たちでつくった  
お菓子や工作を  
楽しんでいます

